

取扱説明書

1. はじめに

弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。本取扱説明書は大切に保管してください。

2. 使用上のご注意

本品の使用にあたっては、使用上の注意を守りお使いください。

2.1 本体の取り扱い

本体を投げたり落下させたりしないでください。故障の原因になります。製品の分解、改造はしないでください。保証対象外となります。

2.2 乾電池

本品にはアルカリ単4乾電池をご使用ください。使用後は必ず電源をお切りください。また、長期間使用しない場合は電池を取り外して保管してください。

2.3 電池蓋

電池蓋は電池交換時以外には取り外さないでください。電池蓋を外す際は、水分や汚れを取り除いてください。内部に水分や異物が入ると故障の原因になります。

電池蓋を取り付ける際は、蓋の両端をしっかり押し本体との間に浮きや隙間のないように確実に閉じてください。

2.4 ボタン操作

本取扱説明書に記載されている“1秒間長押し”とは、ボタンを1秒以上3秒未満押すことを指します。“3秒間長押し”とは3秒以上押すことを指します。

3. 機器の構成

本体	THE467-DRX2	1台
アルカリ乾電池(単4)		1本
ヘルメット取り付けクリップ (溝付ヘルメット用)		1個
取扱説明書(本書)		1枚

4. 操作パネル



写真 1 操作パネル

写真 2 裏面パネル

*操作パネルには保護シートが貼り付けてあります。セロテープ等をパネルの隅に軽く貼り引き上げれば簡単に剥がせます。

4.1 操作ボタンの機能

ボタン名	機能と基本操作
【POWER】	3秒間長押しで電源 On/Off
【MODE】	電源投入後 3秒間長押しで受信チャンネル選択の開始、再度3秒間長押しで選択終了 振動 On に設定後 5秒以内に 3回押しと振動時間の設定
【UP】 【DOWN】	音量調整 (5段階) ▲ 3秒間長押しで振動 On ▼ 3秒間長押しで振動 Off 【CH】 緑色点灯時は受信チャンネル選択 (1~65) 【MD】 黄色点灯時は振動時間選択 (1~5) (0.2~5秒) 【MD】 赤色点灯時はユーザーコード選択 (0~99)

表 1 ボタンの機能と基本操作

4.2 LED 点灯内容

LED の点灯色およびその組み合わせ、点滅間隔で下表の内容を示します。

LED 名	表示内容
【PW】	電源 On 時 5 秒周期の緑色点滅 受信時 1 秒周期の緑色点滅 電池電圧低下時* 1 秒周期の赤色点滅 ユーザーコード設定時 1 秒周期の緑色点滅
【CH】	受信チャンネル設定時 緑色点灯
【MD】	振動時間設定時 黄色点灯 振動 On/Off 設定時 黄色 1 秒間点灯 ユーザーコード設定時 赤色点灯
機器背面の LED	受信中に赤色 LED、橙色 LED が交互に点滅

表 2 LED 表示の内容

* 電池電圧低下時にはバイブレータが 1 秒間隔で 10 秒間振動します。すみやかに電池を交換してください。

5. 使い方

5.1 電源を入れる。

【POWER】 ボタンを 3 秒間長押しすると電源が入りセルフテストを実行します。

セルフテストでは、LED 点灯ならびにスピーカートーンが 1 秒ごとに 7 回変わりバイブレータが 1 秒間作動、最後に受信チャンネル番号を音声通知し受信待機状態になります。受信待機状態では【PW】が 5 秒周期で緑色点滅します。電波を受信したときは機器が振動し【PW】が 1 秒周期で緑色点滅するとともに機器背面の LED2 個が交互に点滅します。これら一連の動作に異常がないかご確認のうえ機器をご使用ください。

5.2 受信チャンネルの設定（電源投入後 1 回のみ設定可）

【MODE】ボタンを 3 秒間長押しすると【CH】が緑色点灯し受信チャンネルを変更できます。▲または▼ボタンで受信チャンネル番号を選択できます。番号を早送りする場合は、▲

または▼ボタンを 3 秒間以上長押しすると 5 チャンネル単位でスキップすることができます。

選択したチャンネル番号の設定は再度【MODE】ボタンを 3 秒間長押しするか 30 秒以上▲ ▼のボタン操作がないと【CH】が消灯し終了します。終了後に設定をやり直す場合は、一旦電源を切り再起動後に実施してください。

5.3 音量調整および振動の On/Off

音量は▲または▼で 5 段階調整できます。音量は表 3 のとおり音声ガイドで通知されます。

音量	最小	小	中	大	最大
音声ガイド	いち	に	さん	よん	ご

表 3 音量設定時の音声ガイド

振動の On は、▲を 3 秒間長押ししてください。設定が完了すると【MD】が黄色点灯し 0.5 秒の振動が 2 回あります。振動の Off は、▼を 3 秒間長押ししてください。設定が完了すると【MD】が黄色点灯し 0.5 秒の振動が 1 回あります。

5.4 振動時間の設定

電波を受信した時の振動時間は 2 秒間（工場出荷時）に設定されていますが、下記の操作で振動時間を変更できます。

▲を 3 秒間長押しして振動を On に設定したあと、5 秒以内に【MODE】ボタンを 3 回押すことで振動時間を変更できます。変更可能になると【MD】が黄色点灯し、振動秒数の設定が表 4 のとおり音声ガイドで通知されます。▲または▼で 0.5 秒、1 秒、1.5 秒、2 秒、5 秒のいずれかを選択してください。5 秒以上▲ ▼のボタン操作をしないと【MD】が消灯し設定が完了します。

振動秒数	0.5	1.0	1.5	2.0	5.0
音声ガイド	いち	に	さん	よん	ご

表 4 振動時間設定時の音声ガイドと秒数

5.5 ユーザーコードの設定

5.5.1 ユーザーコード使用に関する注意

本機にユーザーコードを設定した場合、コードが一致する無線機しか受信できなくなります。同じチャンネル番号であっても、ユーザーコードを設定していない、またはコードが異なる無線機は受信しなくなりますので設定にあっては十分ご注意ください。なお、本機ではユーザーコードは 1～99 の範囲で使用できます。100～511 の範囲は使用できませんのでご注意ください。

5.5.2 ユーザーコードの設定方法

5.5.1 項の注意をよくお読みのうえ電源を切った状態から開始してください。

- ① 電源 Off 確認
- ② ユーザーコード設定モードに入る。
 - ▲ ▼を同時に押した状態で【POWER】を3回押すと、電源が入り【MD】が赤色点灯し設定モードに入ります。
- ③ ユーザーコードを設定する。
 - ▲または▼で 0～99 のいずれかを選択します。値は音声ガイドで通知されます。番号を早送りする場合は、▲または▼を3秒間長押しすると5単位で値が変わります。ユーザーコードを利用しない場合は、必ず“0”に設定しておいてください。
- ④ 設定終了
 - 【POWER】ボタンを3秒間長押しすると設定を終了し電源が切れます。

5.6 電源を切る。

【POWER】ボタンを3秒間長押ししてください。確認のトーンが2回鳴り電源が切れず。電源断時には受信チャンネル、音量、振動時間、ユーザーコード設定が記憶されます。

5.7 工場出荷設定に戻す。

工場出荷時の設定に戻す場合は、電源 off の状態で ▲ ▼を押し、同時に【POWER】を3秒間長押しすると実行します。1秒間のスピーカートーン、【MD】緑色点灯後、セルフテストを実行し工場出荷設定を完了します。設定値は受信チャンネル 1、振動時間 2秒、音量 中、ユーザーコード 0です。

6. ヘルメットへの装着

付属のヘルメット取り付けクリップをヘルメットに取り付けてください。

写真3のように取り付けクリップとヘルメットの隙間に本体の上下フックのツメがロックする位置まで挿入します。ヘルメットに本体が固定していることをご確認のうえご使用ください。

*ヘルメット装着クリップを破損、紛失した際は、(株)トーヨーセフティー No.88-OK ゴーグル用クリップの使用を推奨します。



写真3 ヘルメットへの装着

7. おもな仕様

項目	仕様
周波数	467.0000～467.4000MHz デジタル簡易無線（免許局）
変調方式	4値FSK
電波の型式	F1D、F1E
チャンネル数	65ch
ユーザーコード	1～99*
アンテナ	内蔵タイプ
スピーカー出力	0.1W
バイブレータ	着信時に鳴動 0.5秒、1秒、1.5秒、2秒、 5秒から選択
電源	単4型アルカリ乾電池 1本
使用時間	7時間以上（話中1：待受4 の比率で動作したとき）
電圧低下警報	【PW】LED赤色点滅および バイブレータ振動10秒間
使用環境	温度：-10～50℃ 湿度：90%RH以下（結露 なきこと） 防塵・防水：IP65相当
外形寸法	70(H)*48(W)*17(D)mm
重量	45g（電池含む）

表5

*ユーザーコード 100～511 は使用できません。

8. 音声圧縮方式について

本製品は、米国 DVS 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用した AMBE+2™ に対応しております。本方式は、DVSI 社の知的所有権として保護されています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this NXDN Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495 B2, and #6,199,037 B1.